

2019年度 事業報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(1) ジェンダー問題に関する研究・調査

第2期プロジェクト研究として、人文・社会・自然にわたる多様な研究分野の若手(研究歴が短い)研究者19人の参加をえて、それぞれの専門分野における「ジェンダー問題とは何か」を議論する研究会を開催した。

<テーマ> 「ジェンダー研究が拓く知の地平」

<内容> 若手研究者(研究員)が、それぞれの専門分野から選んだ研究テーマをジェンダーの視点から捉えた研究発表を順次行ない、参加者相互で議論・アドバイスを行なった。

<研究会>

- ・第5回 2019年6月29日(土) 場所 : GRL会議室
池田美奈子:ジェンダーデザイン方法論の構築に向けて
清原悠 :「経験」を「編集」する— 一女性団体『草の実会』への
メディア論的・社会運動論的アプローチ
参加者: 研究員 9名 研究所理事等 6名
- ・第6回 2019年9月28日(土) 場所 : GRL会議室
浅井寿生 :なぜ外国語大学には女子学生が多いのか
藤原千沙 :フェミニスト経済学と制度派労働研究
宮下かおり:事業主家族への労働報酬に関する税制に規定:当事者たちの
要求と運動の歴史的検討
参加者: 研究員 9名 研究所理事等 6名
- ・第7回 2019年12月15日(土) 場所 : 東海ジェンダー研究所セミナー室
久田由佳子:アメリカ女性史における「女性の領域」論 再考
新井美佐子:フランスの「選択の自由」政策とジェンダー
参加者: 研究員 5名 研究所理事等 6名
- ・第8回 2020年3月21日(土)
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)

(2) ジェンダー問題に関する研究への助成

① 個人研究助成

若手研究者を対象に、男女共同参画社会の形成に資する研究テーマを公募し、選考の上、助成した。

- ・募集期間 2019年4月15日～5月31日
- ・応募総数 28名
- ・審査委員会
 - 第1次選考 2019年6月24日 17:00～18:40 当研究所にて選考会議
 - 第2次選考 2019年6月24日 19:30～20:30 当研究所にて選考会議
- ・受託者(4名)

*張 玲 (チョウ リン)

「ファッションから見る現代中国女性の身体表象と女性像の変容
—中華人民共和国建国後を中心に—」

*八谷 舞 (ヤタニ マイ)

「19～20 世紀転換期アイルランドにおける女性と図書館」

*フォタケ ローラ イワナ

「性的マイノリティと集合行為

—性的マイノリティのナラティブに見る、個人から政治空間への移行—」

*菅谷麻衣 (スガヤ マイ)

「公共空間における性表現規制のあり方

—ジェンダー平等と表現の自由の譜調—」

・助成金額 計 1,200,000 円 (各 30 万円)

② 団体研究助成

ジェンダー問題を研究している団体の研究計画を公募し、選考の上、助成した。

・募集期間 2019 年 4 月 15 日～5 月 31 日

・応募総数 3 件

・審査委員会 2019 年 6 月 24 日 19:10～19:30 当研究所にて選考会議

・受託団体 1 件

* 沖縄女性研究者の会

「日本国の女性研究者支援事業並びに女性研究者の能力開発、活用政策後の若手
研究者（沖縄県在学大学院男女院生）の意識、実態の変容調査」

・助成金額 20 万円

(3) ジェンダー問題に関するシンポジウム、フォーラム等の開催

ジェンダー問題に対する理解・意識の普及や啓発のため講演会・報告会等を開催した。

① 講演会

2016 年度に出版した『資料集 名古屋における共同保育所運動 1960 年代～1970 年代を中心に』が、2019 年 5 月に日本保育学会保育学文献賞を受賞したことを記念して、保育の現代的問題を考えるため講演会を開催した。

・テーマ 「保育の現状と将来」(全体テーマ)

「保育園で子どもが育つということ—子どもの権利の視点から考える—」

(谷口由希子さん)

「女も男も、仕事も子育てもフツーにできて、子どもが幸せな社会を」

(普光院亜紀さん)

・講師 ①谷口由希子さん

(名古屋市立大学大学院人間文化研究科准教授)

②普光院亜紀さん

(保育園を考える親の会代表、保育ジャーナリスト)

・日時 2019 年 11 月 24 日 (日) 13:10～16:10

- ・会 場 名古屋都市センター特別会議室
- ・参加費 無料
- ・参加者 41名

② 個人助成受託者報告会

前年度の個人研究助成受託者が、研究成果を中間発表するための報告会を開催した。

- ・日 時 2019年7月13日(土) 13:30~16:45
- ・会 場 東海ジェンダー研究所 セミナー室
- ・報告者
 - * 溝口 聡 (ミゾグチ ソウ)
(関西大学外国語学部 助教)
「不可視化された女性労働者たち—ハワイ日系社会における女性像の再検討」
 - * 石田 若菜 (イシダ ワカナ)
(駿河台大学法学部 講師)
「ポスト同性婚問題に関する比較法的研究—Whitaker v. Kenosha Unified School District (858 F.3d 1034 (7th Cir. 2017)) を中心に」
 - * THAPA KABITA (タパ カビタ)
(中部大学大学院国際人間学研究科・国際関係学専攻)
「ネパール社会における未亡人の地位に関する分析：(チトワン地区パルバティプルおよびシバナガル地域で実施した実証的研究)」
- ・参加費 無料
- ・参加者 20名
 - * 終了後、報告者を交えて交流会を開催した。

③ 講座

憲法とジェンダーについて考えるため、講座を開催した。

■講座②

- ・テーマ 「その時「憲法の歴史」が動いた！～歴史を創った3人のヒロイン～」
- ・講 師 的場かおりさん (近畿大学法学部准教授)
- ・日 時 2019年12月14日(土) 13:30~16:00
- ・会 場 東海ジェンダー研究所セミナー室
- ・参加費 無料
- ・参加者 18名

■講座① (10月に開催予定であったが、台風接近のため2月に延期)

- ・テーマ 「日本国憲法をめぐる現代的課題—性的マイノリティの問題を中心に」
- ・講 師 綾部六郎さん (名古屋短期大学現代教養学科教員)
- ・日 時 2020年2月8日(土) 13:30~16:00
- ・会 場 東海ジェンダー研究所セミナー室
- ・参加費 無料
- ・参加者 25名

④ 賛助会員のつどい(公開)

賛助会員の交流を図り、幅広い分野におけるジェンダー問題への理解を深めるため、毎年公開して行っている。今年度は、2018年ノーベル平和賞受賞者デニ・ムクウェゲ医師の性暴力被害者に対する献身的な治療に焦点をあてたドキュメンタリー映画『女を修理する男』を鑑賞しながら、日本との関係について考える機会とした。

- ・テーマ 「コンゴにおける紛争下の性暴力と日本との関係」
- ・講師 米川正子さん (筑波学院大学経営情報学部准教授)
- ・日時 2019年9月16日(月・祝) 13:30~16:00
- ・会場 都市センター特別会議室
- ・参加費 無料
- ・参加者 75名

(4) 年報及びニューズレター等の発行(広報・出版活動)

①年報『ジェンダー研究』第22号の発行

特集「移民とジェンダー」巻頭論文・依頼論文のほか、公募論文、特別寄稿、当研究所の2018年度事業報告等を掲載した。

<公募論文>

- ・応募期間 2019年4月15日~9月30日
- ・応募総数 5件(一般3件、個人研究助成受託者2件)
- ・年報審査委員会
 - 第1次選考 2019年10月15日 当研究所にて選考会議
 - 第2次選考 2019年12月10日 当研究所にて選考会議

<内容>

- ・発行月 2月
- ・発行部数 700部
- ・掲載内容
 - 巻頭論文 1件
 - 訳者解題 1件
 - 依頼論文 2件
 - 公募論文 2件
 - 研究ノート 1件
 - 特別寄稿 1件
 - 訳書紹介 1件

②ニューズレター『LIBRA』第66・67・68号の発行

ジェンダー問題に関する識者の見解、当研究所の事業などを掲載した。

- ・発行月 7月(66号)・11月(67号)・3月(68号)
- ・発行部数 各号 1,300部

(5) 他団体との連携(後援)

公開セミナー「日本に暮らす外国人ムスリムを取り巻く諸問題」

日時：2020年2月29日（土）
場所：名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ
主催：「イスラーム・ジェンダー学」科研費研究会
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

(6) ジェンダー問題に関する資料・文献の収集と提供

ジェンダー問題に関する図書・雑誌・資料を収集した。また、図書・雑誌・資料の整理を行った。

- ・ジェンダー問題に関する図書・雑誌の購入・寄贈 図書 34 冊、雑誌 2 タイトル
- ・関係諸機関からの研究情報ニュース、研究誌（年報など） 37 タイトル
- ・名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）への寄贈のため研究者等からジェンダー問題に関する資料の寄贈を受け、入力や整理を行った。

(7) その他当研究所の目的を達成するために必要な事業

- ① ジェンダー問題に関する研究会・研修等に用いるセミナー室の貸出
2019年度利用登録団体 11 件、年間利用件数 84 件（2018年度 92 件）
- ② ジェンダー問題に関する会議等への出席
 - ・「名古屋市男女平等参画推進会議（イコールなごや）」への参加
2019年7月31日（水）、2020年1月28日（火）
 - ・公益財団法人 あいち男女共同参画財団理事会への出席
2019年5月29日（水）、6月14日（金）、2020年3月10日（火）

(8) 「名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）」への支援

- ① 図書・雑誌・アーカイブの寄贈
GRLの蔵書とするため、図書、雑誌・資料（アーカイブ）をGRLに寄贈した。
 - ・図書 3月31日現在 27冊の図書を寄贈した。内訳は、和書 26冊、洋書 1冊である。
 - ・雑誌 18タイトルを寄贈した。内訳は、和雑誌 18タイトル（内新規 1タイトル）である。
 - ・資料（アーカイブ） 10ファイル・41点・1箱を寄贈した。内訳は、大脇雅子資料 4 労働基準法の一部改正関連資料、大脇雅子資料 5 ‘84 日本女性会議なごや関連資料である。
- ② 運営費等の寄附
ジェンダー問題に関する研究をすすめるため、当研究所と名古屋大学の連携事業として 2017 年 11 月に開館した GRL に対し、「図書及び運営費の寄附に関する合意書」（2019 年 3 月 3 日締結）に基づき、2019 年度分の運営費寄附金 16,498,000 円を 2019 年 4 月 4 日に名古屋大学へ寄附した。
- ③ 会議への参画（東海ジェンダー研究所と名古屋大学による会議）
GRL 運営小委員会（11 回）、広報委員会（1 回）、図書選定委員会（8 回）、年報編集委員会（7 回）に参加し、GRL の運営・事業内容等の検討を行い、年報の発行等を支援した。